



未来を担う力を「福島町」で



北海道福島商業高等学校

学校案内 2022

人間尊重 自主創造 信義誠実

本校は創立70周年を迎えた歴史ある商業高校です。各学年1クラスと規模は小さいですが、それぞれが目標を持ち、学習や学校行事に一生懸命に取り組んでいます。そして、何より明るく、元気で優しい生徒が集まっている学校です。「商業高校」ではどのような学習をするのでしょうか？ それは、これまで学習してきた国語・社会・数学・理科・英語などの他に、ビジネスの基礎を学び、どのようにすれば商品やサービスが売れるのか、コスト計算や会計処理をどのようにするのか、PRや分析などに情報技術をどのように取り入れるかなどを学習します。そして、より実践的な学習として商品開発や地元観光プランなどを考案するなど専門知識を習得していきます。ぜひ、福島商業高校で高校生活を過ごしてみませんか。

北海道福島商業高等学校長 太田 和 浩

学校行事



4月

入学式、前期始業式
対面式、宿泊研修〈1年次〉

5月

高体連

6月

前期中間考査

7月

新潮祭〈学校祭〉



8月



9月

前期中間考査
マラソン大会、販売実習
前期終業式

10月

後期始業式、インターンシップ〈2年次〉
販売実習

11月

見学旅行〈2年次〉
体育大会

12月

後期中間考査
学習成果発表会

1月

学年末考査〈3年次〉
スキー授業

2月

学年末考査〈1・2年次〉
卒業生歓送会

3月

卒業式、修了式



キャリア教育の充実



各種販売実習

商業教育フェア(札幌)、カントリーフェスティバル(福島町)などに出店し、販売実習を行います。



インターンシップ

2年次には2日間のインターンシップを行います。自分の興味のある仕事を体験し、進路活動へつなげます。

教育課程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1学年	現代の国語	言語文化	公共	数学Ⅰ(遠隔)	英語コミュニケーションⅠ(遠隔)	体育	保健	書道	ビジネス基礎	ビジネスコミュニケーション	簿記	情報処理	探究	総合的な学習の時間	H.R活動															
2学年	国語表現	地理総合	数学A(遠隔)	科学と人間生活	英語コミュニケーションⅡ(遠隔)	体育	保健	家庭基礎	マーケティング	観光ビジネス	財務会計Ⅰ	ソフトウェア活用	【選択】グローバル経済/原価計算	探究	総合的な学習の時間	H.R活動														
3学年	国語表現	歴史総合	生物基礎	英語コミュニケーションⅡ(遠隔)	体育	【選択】論理・表現Ⅰ/福島歴史	【選択】政治・経済/化学基礎	【選択】ビジネス法規	課題研究	総合実践	【選択】プログラミング/ビジネス・マネジメント	探究	総合的な学習の時間	H.R活動																

福島商業では、普通科目だけではなく**商業に関する科目**を学ぶことで、ビジネスに関する実務を学ぶことができます。そのため、就職・進学のための専門的な学習を早い段階で行うことができます。また、通信機器を活用した遠隔授業による習熟度別学習やチームティーチングを通し、様々な進路に対応できるようなきめ細かい指導を行っています。



1年生 船尾 凜さん(福島中学校出身)
将来、看護師をめざしているため、遠隔授業を選択しました。先生は画面越しですが、丁寧にわかりやすく教えてくれます。入試で聞かれるような、少し難しい問題にも取り組むことができるため、問題を解く力も身に付けることができています。

資格取得

3年間で無理なく検定取得を目指すことができます

高校在学中に全国商業高等学校協会が主催する9種目の検定において、1級を3種目以上取得した生徒に対し卒業時に表彰する制度で、全国の商業を学ぶ生徒がこの表彰を目標に日々勉強に励んでいます。「1級取得」というと難しいと思うかもしれませんが、段階を踏んで学習を続ければ、合格する力は必ず身に付きます。

全商協会主催の検定試験を3種目以上1級合格すると、卒業時に表彰されます。全国の商業を学ぶ生徒がこの表彰を目標に、日々の検定勉強に励んでいます。

取得可能な検定

- ◆全商簿記実務検定 ◆全商会計実務検定
- ◆全商情報処理検定(ビジネス情報)
- ◆全商情報処理検定(プログラミング)
- ◆全商珠算・電卓実務検定(珠算)
- ◆全商珠算・電卓実務検定(電卓)
- ◆全商商業経済検定 ◆全商ビジネス文書実務検定
- ◆全商英語検定 ◆実用英語技能検定
- ◆日商簿記検定 ◆日本漢字能力検定
- ◆危険物取扱者試験



検定1週間前には講習(答案練習)も実施
放課後などの個別対応体制も充実

商業科教員は5名います

課題研究

3年生が商品開発や町おこし、観光企画などのテーマ設定をし、研究活動を行います。最後は学習成果発表会での報告を行います。



地域学習

町に飛び出し、観光・水産資源を体験します。町内の人と直接交流し、福島町の魅力に触れます。

進路状況

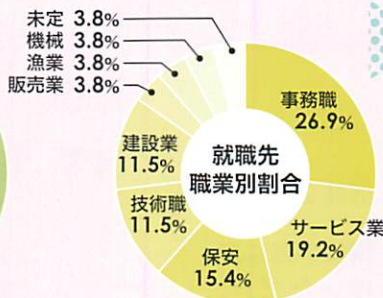
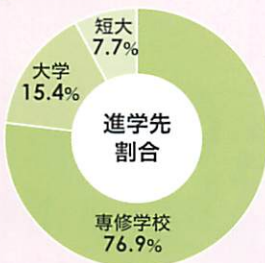
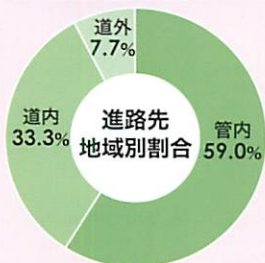
商業高校ではビジネスに関する実務を学びます。そのため就職もサービス業を中心に多岐にわたっています。また、大学の「商学部」や「経済学部」等に進学する場合、高校生活の中で基礎基本を身に付けているため、大学でより専門的な学習を進めることができます。

- ### 進学
- 〈令和元年度卒業生〉
 北海学園大学
 函館短期大学
 大原簿記公務員情報医療専門学校
 吉田学園情報ビジネス専門学校
 北海道エコ動物自然専門学校
 日本工学院八王子専門学校
 代々木アニメーション学院
- 〈令和2年度卒業生〉
 北海学園大学
 大原簿記公務員情報医療専門学校
 北海道看護学校
 北海道医薬専門学校

- ### 就職
- 〈令和元年度卒業生〉
 福島町役場
 福島消防署
 道南うみ街信用金庫
 渡島信用金庫
 松山電機工業
 函館どつく
 北雄産業
 トヨタレンタリース函館
 大沼プリンスホテル
 小樽市役所
 陸上自衛隊
- 〈令和2年度卒業生〉
 松山電気工業
 湊漁業部
 日本郵便
 陸上自衛隊
 川本建設
 大沼プリンスホテル
 道南口イナル病院
 北海道エネルギー
 北海道旅客鉄道

過去2年間の進路先割合

(令和元年度・令和2年度)



昨年度の進路決定率 **100%**

専門講師による、
 公務員講習・看護講習の
 費用は福島町が
全額負担!

卒業生の声

公務員就職と 国公立大学の両立

相馬 音佳さん

〈令和元年度卒業生・小樽市役所／小樽商科大学〉

私は高校在学中に全商協会主催の検定全9種目の1級を取得しました。高校入学前から目標にしていたことで、達成者が道内で5名と聞き、自分のやり遂げたことに誇りを感じています。計画的に効率よく努力することが身につきました。

公務員になりたいという希望と上級学校に進みたいという希望の両方を叶えるために、先生方に多くの時間を割いて指導していただきました。特に小論文対策では、日頃から新聞に目を通して、時事問題に関心を高める必要がありました。また、面接でも大学生や公務員として必要な情報は調べて整理しました。小樽市役所では議会事務局に配属になりました。新聞を読む習慣や面接で調べた情報がかなり役に立っています。パソコンを使用する業務が多いのですが、キー入力のスピードはもちろん、高校で学んだ便利な操作方法などのありがたみも感じています。電話対応や来客対応では、高校時代の茶華道部で身につけた礼法や丁寧な所作が自然に出てくることもあります。

仕事が終わると小樽商科大学の学生として切り替えます。コロナ禍でオンライン講義が主流なため、大学生という実感がありませんが、経済の勉強をしていると高校時代の商業の学習とつながっているようで、とても興味深く学んでいます。親元を離れて下宿生活をしながら、社会人と大学生の両立をするために、規則正しい生活を心がけて頑張っています。高校生活での努力や経験が将来の可能性を広げてくれるものと信じています。後輩の皆さんも頑張ってください。



夢を叶えるための 3年間

木村 楓さん

〈令和元年度卒業生・福島町消防署(渡島西部広域事業組合)〉

高校在学中は陸上競技部に所属し、資格取得との両立に努めました。部活動ではインターハイ出場を目指し、早朝の自主練習などひたすら陸上に打ち込む毎日でした。検定対策では、遅くまで検定講習を受け、合格したときは友人と喜び合い、日々充実していたのを覚えています。他にも様々な検定対策があり、危険物や漢字検定等商業以外の検定にも挑戦しました。また、簿記の大会に出場したり、フェリーターミナルでの販売実習など、高校生活での経験は今の自分の自信に繋がっています。

1年生の時から消防士の夢をかなえるために公務員講習を受け、試験対策を進めました。部活動の引退後は、毎日5~6時間の勉強を続けました。休日でも作文の練習をしたり、体力試験対策として、ランニングや筋力トレーニングを行いました。また、消防士という職業でも生かせると考え、危険物取扱者乙種第4類の免許も取得しました。公務員講習の町からの補助や先生方のサポートなど、環境を整えていただいたことで、進路実現に向けて迷いなく取り組むことができました。

社会人生活が始まり、何もできない自分が悔しく感じる毎日でしたが、上司や先輩からの指導や、町民の方から声をかけていただくことで、日々支えられているということに改めて実感しています。これからも町の防災活動や救助活動に尽力できるよう積極的に沢山のことを吸収して、日々成長し続けられるよう努めていきます。



部活動

バスケットボール部



部員 3名
合同チームを
組み、大会に
参加しています。

陸上競技部



部員 4名
高体連では男
子2名が全道
大会に出場し
ました。

令和3年
全道大会
出場

茶華道部



部員 2名
講師の方に来
校いただき、
お作法を学び
ます。

商業クラブ



部員 9名
検定や商品開
発等商業に関
する活動を広
く行います。

家庭科クラブ



部員 5名
調理のほか、
マスク作成等
の手芸にも取
り組めます。

令和2年新設

吹奏楽同好会



部員 5名
学校祭などの
行事での演奏
を目標に、練
習しています。

総合文化同好会



部員 4名
文化的な活動
のうち、自分
の興味のある
分野に取り組
みます。

運動部2種類、文化部2種類、同好会3種類
全7種類の部活動が活動中！

検定勉強や校外活動との両立も可能
兼部での活動もできます！

希望があれば新しい同好会や
部活動の設立も検討できます！

福島町からの支援制度

support 1 入学奨励金支給

高校進学にかかる費用負担の軽減を図るため、福島町では福島商業高校の新入学生に入学奨励金を支給します。

support 2 部活動等の対外競技参加費補助

部活動大会等の対外競技参加の費用について、全道大会以上は全額負担し、地区大会はその交通費(車両借り上げ料)を補助します。

support 3 各種検定料助成

商業簿記など各種検定に合格した検定料全額を補助します。

support 4 通学生徒に対する交通費の支援

福島商業高校までの通学に要するバス定期代を全額補助します。

support 5 ふるさと留学支援金や下宿代支給

町外から入学する生徒で、福島町に住む親戚宅から通学する場合、最高月額2万円を、また下宿などの利用には最高月額7万円(冬期間は8万円)を支給します。

support 6 給食無償提供(検討中)

令和4年度から全校生徒に給食を無償提供する予定です。

support 7 ノートパソコン無償貸与(検討中)

全国一斉に令和4年度から高校入学時にICT端末を購入しなければなりません。福島町では、ノートパソコンを3年間無償貸与し、卒業時には贈与する予定です。

生徒全国募集に向けて



令和5年度から利用してもらえるよう「青少年交流センター」を整備する予定です。(令和5年3月完成予定)

アクセス



主なバス停からの所要時間

- ◆松前出張所 = 44分
- ◆荒内 = 27分
- ◆木古内駅 = 55分
- ◆湯の里第一 = 21分
- ◆松城 = 37分
- ◆吉岡 = 10分
- ◆知内出張所 = 40分
- ◆千軒 = 12分

車での所要時間

- ◆函館駅 = 80分
- ◆新函館北斗駅 = 80分

北海道福島商業高等学校

住所 〒049-1331 北海道松前郡福島町字三岳161番地

TEL 0139-47-2131 FAX 0139-47-3821

URL <http://www.fukusho.hokkaido-c.ed.jp/>

